

# 令和5年度第1回 山形市男女共同参画センター運営委員会会議録

日 時 令和5年5月26日（金）午後2時00分～

場 所 山形市男女共同参画センター5階

視聴覚室・研修室2

## I 出席者

【委員】 委員長 佐藤慎也委員  
副委員長 横尾峰子委員  
委員 阿部由希委員 石田一馬委員 奥野千秋委員  
中村広志委員 村山理香委員 山川唯美委員

【事務局】 畑口企画調整部長  
高橋男女共同参画センター次長（兼）所長  
遠藤男女共同参画センター副所長  
五十嵐男女共同参画センター参画推進係長  
板垣男女共同参画センター主幹  
大石男女共同参画センター主査

【書記】 山本男女共同参画センター運営事務員  
沼沢男女共同参画センター運営事務員

## II 傍聴者 0名

## III 会議

- 1 開 会 遠藤副所長
- 2 委嘱状交付
- 3 企画調整部長あいさつ
- 4 委員自己紹介・職員紹介
- 5 委員長のあいさつ 佐藤委員長よりあいさつ
- 6 議事  
(1) 報告  
① 令和4年度事業報告について（別冊「年報フェア」） 事務局  
(2) 協議  
① 令和5年度事業計画について 事務局  
② 令和5年度市民企画講座について 事務局
- 7 その他
- 8 閉 会 遠藤副所長

## 【審議経過】

### (1) 報告

①令和4年度事業報告について、事務局から資料に基づき説明があった。

## 【質疑応答】

委員 参加したくてもできなかった講座が多々あった。そのような方むけに、後から見るができるような手段があればいいなといつも思っているが、そのような手段はあるのか。

それとは別に、年報ファーラ19ページから22ページにある登録団体一覧中、8番山形市女性団体連絡協議会の会員数が45,000名と突出しているが、その大多数が生協の組合員である。今年度の生協の組合員は48,375名となっているが、山形市女性団体連絡協議会は、それに約200名を足した14団体で構成し活動しているもので、資料に記載されている会員数は、実際の活動者数が記載されている人数ではないことを補足させていただく。

事務局 講座に参加できなかった方むけに、アーカイブ配信のような後からでも視聴できる手段があれば、参加者が増えるのではというご意見はそのとおりだと思う。一方で講師の方は、それを職業にしている方もいるので、何ができるのか、できないのかを含めて、今後検討していきたい。

### (2) 協議

①第1号議案 令和5年度事業計画について、事務局より資料に基づき説明があった。

## 【質疑応答】

委員 「LGBT」の文言について、最近ではマスコミ等で「LGBTQ」、「LGBTQ+」と色々な表現をしているが、ファーラで表記する場合は「Q」や「Q+」を使わず「LGBT」としているのには、何か理由があるのか。

事務局 確かに、新聞や報道などでは様々な表現をしている。現在は性的マイノリティへの理解増進に関する法案が提出され、今後議論されると思われるので、そのような国の動向に注視しつつ、市として表記するうえでふさわしい表現を今後も考えていきたい。

②第2号議案 令和5年度市民企画講座について、事務局より資料に基づき説明があった。また、⑤選考について、選考委員に、運営委員から佐藤委員長、横尾副委員長、阿部委員に依頼を行いたい旨説明があった。

## 【質疑応答】

特になし

以上の審議の後、「①令和5年度事業計画について」及び「②令和5年度市民企画講座について」は事務局提案のとおり承認された。

### 5 その他

(1) 男女共同参画学習資料について事務局より説明

### 6 閉会